

「ホメオパシーで頭痛が改善し QOL が高まったケース」

日本ホメオパシーセンター大阪本部

JPHMA認定ホメオパスNo.0070

JPHMA認定アニマルホメオパスNo. A0003

JPHF認定インナーチャイルドセラピストNo. 0047

麻野 輝恵（あさの てるえ）

◆クライアント：43 歳男性、整体師（家族：妻、子供 2 人）

◆主訴 残尿感、頭痛、胆のうポリープ

体 質：眼、口の周りにヘルペスができやすい。肩関節の痛み、脂肪肝により正常値より数値が高い、大腸ポリープ摘出 2 回、起床時の足関節の痛み

性 格：責任感が強い、物事完璧にしたい 母からは神経が細かすぎるといわれる。妻は傲慢な所があるという。筋肉トレーニングが趣味、学生時代レスリングをしていた。

両 親：母：壁がある。母は厳しい人 比較が多い特に兄（特に勉強）に対して。母は完璧を求める。父：昔から自分の味方、理解者。

兄 弟：兄 2 才上（優しいし、気配りできる人）、妹 2 才下

ショック：兄が父違いであることが知った事。兄と同じ整骨院の学校に行くのを反対されたこと。

◆タイムライン

幼児期 肩関節脱臼を繰り返す

20 才 尿道炎で抗生剤服用。残尿感があったため 1 ヶ月抗生剤を服用する
1 年間で 3 回の事故

22 才 急性肝炎。GPT、GOT 数値に異常あり。入院数ヶ月

27 才 睾丸炎、1 週間入院手術。親知らずの抜歯。

30 才 接骨院開業

36 才 大腸ポリープ切除。リラクゼーション 1 店舗目開業。

38 才 自宅購入引越し。大腸ポリープ切除。リラクゼーションの 2 店舗目開業

43 才 胆のうポリープ（超音波にて確認）

◆症状

残尿感：病院へ行くが現状はっきりした病名ない。20 才尿道炎、27 才睾丸炎入院手術をした。仕事柄、尿意を催しても行かずに我慢することがある。

頭 痛：20 才過ぎから頭痛はあった。週 3 日頭痛になる。

締め付けられるような頭痛；後頭部、側頭部にでる。頭痛薬を使用。

胆嚢ポリープ：胃の調子が悪く、病院に行き発見される。

■初回相談会 2016年9月

頭痛は長年の症状。今一番気になる残尿感の改善を最優先したので、その症状を中心にレメディーを選択。

◆レメディー選択 TBR (The Bonninghausen repertory の略) を使って検索

- 1 : 445# 2. 泌尿器 - 1. 内臓(臓器) - 尿道
2 : 1747# 1. 基調 - 3. 精神 - 不安(恐れおよび恐怖)から
3 : 447# 2. 泌尿器 - 2. 排尿 - 尿の流れ - 途絶える(断続的な)
4 : 923# 3. 全般 - 1. 全般 - 打撲したような痛み、(限局的な、広汎性ではない)
5 : 13# 1. 頭部 - 1. 外頭部 - 頭部の側面
6 : 992# 3. 全般 - 1. 全般 - 脱毛 - 頭の、 - 全般から
7 : 821# 2. 睡眠 - 1. 睡眠 - 爽快にならない

* 全項目を満たすレメディー Caust.

◆処方 1回目

随時 サポートの腎臓 +Canth. 6C +Antibiot-C-D 30C +Acet-ac. 6C

朝 アルポ +Med. LM_02 +Zinc. LM_01 +Mur-ac. LM_01

夜 アルポ +Caust. LM_03

※Canth./ヨーロッパミドリゲンセイ、Antibiot-C-D/薬剤レメディー、Acet-ac./酢酸、
Med./ノゾーズ、Zinc./亜鉛、Mur-ac./塩酸、Caust./水酸化カリウム

◆レメディー選択の根拠

- ・過去に尿道炎や睾丸炎で手術もあったので、腎臓をサポートするマザーチンクチャーを選択。
- ・Antibiot-C-D、Acet-ac. 薬の影響を排出するため。
- ・Zinc. ファタック：激しさの変化する頭痛
- ・Mur-ac. 母親との問題を入れる。

■2回目相談会 2016年11月

- ・残尿感 8割よくなった。
- ・頭痛 今までが10なら2くらいになった。頭痛が出ると自分で選んだBell. (セイヨウハシリドコロ)、Nat-m. (塩化ナトリウム)、Lach. (ブッシュマスター) をとると7,8割痛みが止まる。結膜炎で目の炎症があった。
- ・精神的に余裕が出てきた。一定のクライアントがないと不安だったがそういう考えは減った。

◆レメディー選択

- 1 : 23# 1. 頭部 - 3. 目 - 結膜
2 : 1012# 3. 全般 - 1. 全般 - 炎症 - 粘膜の
3 : 16# 1. 頭部 - 2. 内頭部 - 内頭部、全般
4 : 224# 2. 胸 - 1. 首(および喉) - 首 - 背側(うなじ)
5 : 256# 3. 体肢 - 1. 上肢 - 肩部(三角筋)
6 : 1139# 3. 全般 - 1. 全般 - 強く張った(ぴんと張った)感覚 - 内側部分の
7 : 2080# 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 中毒 - 麻酔薬・睡眠薬・麻薬による
*全項目を満たすレメディー ①Nux-v. ②Bell. ③Puls. ④Merc TBR2 番目の Bell を選択

◆処方 2回目

随時 MT)Thuj +H1N1-V 30C +Berb. 3X
朝、夜 MT)Mill +Arn. 6C +Bell.LM_04 +Med.LM_03 +Zinc.LM_02

※Thuj./ニオイヒバ、H1N1-V/薬剤レメディー、Berb./ヒロハヘビノボラズ、Mill./セイヨウノコギリソウ、Arn./ウサギギク、Bell./セイヨウハシリドコロ、Med./ノゾーズ、Zinc./亜鉛

◆レメディー選択の根拠

- ・MT) Thuj : 心、肉体、魂のバランスをととのえ、身体の中の老廃物の排出のため
- ・H1N1 : インフルエンザのワクチンの負荷に対して
- ・Berb. : 腎臓の強化、老廃物排出を促すため
- ・MT) Mill : 事故怪我が多く深い傷の回復のサポートとして
- ・Arn. : 怪我の影響に対して

【2016年12月 好転反応か風邪の症状が酷いと連絡が来る】

2週間ほど喉の痛み、痰が出て大変しんどい。処方のレメディーを止め、MT) P-07 (Echi./エキナシア) に Hep. (硫化カルシウム)、Nux-v. (マチンシ) に入れるように指示。指示した翌日に頭痛が酷くなりだし、顎、側面、鼻も腫れだしたと連絡がある。

Bry. (ブリオニア)、Calc. (炭酸カルシウム)、Pyrog. (腐った肉の膿) を MT) Pet7 (Echi) + MT) Hyper (セイヨウオトギリソウ) に入れてとるように指示。

【2017年1月 再度連絡あり】

12月に指示したレメディーで落ち着いたので、2週間後より処方レメディーを再開するが、同じ症状が出てきた。特に咳が酷く止まらない。横になると咳が酷くなり、声まで変わる。仕事はしているが咳が酷く中断することがある。MT) Eup-per (フジバカマ)、Rumx. (ナガバギシギシ)、キットより Caust. (水酸化カリウム)、Ars. (三酸化ヒ素)、Pert. (ノゾーズ)、Bac. (ノゾーズ) を指示。

その後、2月下旬に連絡があり

足の間の皮が1週間前より剥けている薬指の甲側の根元のかさぶた、円形のかぶれジクジクで痛い状態。 MT) Galen (キンセンカ) に Merc (水銀)、Thuj (ニオイヒバ)、Pyrog (腐った肉の膿)、をいれてとるように指示。数日後 股 (鼠蹊部) の爛れが酷い。昔にインキンタムシがあったと報告をうける。

■3回目相談会 2017年3月

- ・始めは鼠蹊部右の皮膚が酷く、その後左足も同じような症状。指の回り右の足の甲。股が爛れている。
- ・頭痛は今までと違う出方。夜寝ている時になる。この頭痛になった頃から皮膚に症状が出てきた。痛みは我慢できる。側頭部 締め付けられる >朝動く
- ・肉系を食べるとお腹をこわす。鶏はOK。
- ・アルコール飲みたくない。飲むと朝、頭が痛くなる。食べる量も少なくなっている。

◆レメディー選択

- 1 : 1693# 1. 基調 - 1. 時間 - 夜に : - 真夜中(午前0時)より後に
2 : 13# 1. 頭部 - 1. 外頭部 - 頭部の側面
3 : 938# 3. 全般 - 1. 全般 - 締め付ける(および収縮する) - 外側部分の
4 : 2084# 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 圧力(外圧、圧迫、など)から
5 : 836# 2. 睡眠 - 4. 不眠 - 不眠全般
6 : 1411# 3. 全般 - 6. 皮膚全般 - びらん・ただれが発現する(とこずれ、間擦疹、など)
7 : 905# 3. 全般 - 1. 全般 - 身体の側面 - 右側
- *全項目を満たすレメディー ①Lyc. ②Kali-c. ③Caust. ④Ars. ⑤Dros. ⑥Nit-ac

◆処方

随時 サポートφ腎臓 +Vanad. 12X +Buff-D 6C +Nit-ac. 6C
朝・夜 サポートφ大腸 +Lyc. LM_05 +Med. LM_04 +Kali-c. LM_03

※Vanad. /バナジウム、Buff-D/薬剤レメディー、Nit-ac. /硝酸、Lyc. /ヒカゲノカズラ、
Med. /ノゾーズ、Kali-c. /炭酸カリウム

◆レメディー選択の根拠

- ・腎臓のマザーチンクチャー 腎臓の強化
- ・Buff-D 昔からの頭痛に痛み止めを使っていた為
- ・大腸のマザーチンクチャー 大腸にポリープがあり、肺、大腸、皮膚が関連するため
- ・Med. ポリープを作りやすい傾向。不安、怒りっぽい
- ・Kali-c. TBR 2位

■4回目 2017年11月

- ・頭痛は月に1回くらいに減っている。長いと2日続く、自分でMT) HyperにBell、Bry、Lach、Nat-mを入れてとるとすぐに楽になる。頭痛の前兆：朝に首、肩が張る。左の背中が痛くなる
- ・昔クラブで首を傷めたことがある。腰の調子は良くなっている。
- ・仕事でクレーム等が通常より多くあり、我慢することが多かった。またイライラすることも増えストレスが多い状態。寝つきも悪い。仕事上なのか気を吸い取られているような感じがすることがあった。
- ・考え方が少し変わってきた。妻に言われてイラッとすることが多かったが聞き流せる。気分的にもゆとりがでてきて、身体に話しかけたりする。起床時に日々無事なことに感謝の言葉を言う。

◆レメディー選択

- 1： 20# 1. 頭部 - 2. 内頭部 - こめかみ(頬骨弓の上の側頭部)
2： 224# 2. 胸 - 1. 首(および喉) - 首 - 背側(うなじ)
3： 257# 3. 体肢 - 1. 上肢 - 肩部(三角筋)： - 肩の関節(肩甲上腕)
4： 1067# 3. 全般 - 1. 全般 - 硬直(凝り、凝り固まり、固定[ギプスをしたように])
5： 2052# 1. 基調 - 5. 状態および状況から - 運動(動作、動き) - 患部の
6： 1762# 1. 基調 - 3. 精神 - 苛立たしさ(かき乱される、気分を害する・困惑する、悩まされる)から
7： 779# 1. 精神(および気質) - 1. 精神 - 不安

*全項目を満たすレメディー ①Puls. ②Bry. ③Ign. ④sulph. ⑤Sep. ⑥Petr

◆処方

随時 サポートφ胆のう +Berb. 6X +Adren. 6C +Blessing 30C
朝・夜 サポートφ動脈瘤 +Bry. LM_04 +Psor. LM_03 +Petr. LM_02

※Berb./ヒロハヘビノボラズ、Adren./アドレナリン、Blessing/ブレッシング、
Bry./ブリオニア、Psor./ノゾーズ、Petr./ノゾーズ

◆レメディー選択の根拠

- ・胆嚢のサポート QX-SC10に怒りがでている、以前は外に向けていた怒りが内向しているため
- ・Adren 副腎のカバーのため
- ・Blessing 仕事上でこちらの事を攻撃する人がいて、身を守る為
- ・動脈瘤サポート 肩こり、首の酷い凝り
- ・Bry TBR2位 仕事をしたがる。イライラしている
- ・Petr 首のこわばり、TBR6位

◆報告

頭痛は起こらなくなった。以前は仕事をしているとイライラしていたが、イライラしなくなった。些細な事で気分を害して怒っていたように思う。

母親は兄の方が可愛い、それは仕方が無いとなぜかすっきりした気持ちになった。

【考察】

クライアントは相談会前には大腸ポリープや睾丸炎などもあり自分の健康に対して不安に思うところがありました。また、仕事上でも将来に対する不安もありました。

頭痛があればすぐに薬をとり、インフルエンザには予防接種を打っていたが、ホメオパシーで頭痛が改善し、薬を使わなくなりました。

初回の相談会のレメディーで症状が一気に軽くなったことでレメディーの効果を信頼し、様々な排出に対しても受け止め対応できるようになった。

相談会を重ねるうちにインナーチャイルドの事にも目を向けていき、母親に対する気持ちにも変化がありました。母を許せるようになりました。

同時に仕事の場がかかわる皆さんに対しての見方が変わりコミュニケーションも良くなって行きました。クレーム等に対してもマイナスにとるのではなくポジティブに受け取ることが出来るようになりました。ホメオパシーを活用することでご自身に自信が持てるようになり健康面だけでなく生活や精神面にもゆとりができ、仕事に対してはより前向きな考えになりました。

カテゴリー：[薬剤等からの影響] [その他 慢性症状]